

令和7年度 第5回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2026年（令和8年）3月27日（金） 10：00～11：40

2. 場所：市役所5階第2会議室

3. 出席者：沼間小学校区住民自治協議会（曾志、江連）

小坪小学校区住民自治協議会（原田、宮川）

池子小学校区住民自治協議会（斎藤、齊藤、青野）

久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井）

※敬称略

地域担当職員リーダー（伊達慎一郎経営企画部次長、堀田昌希福祉部次長、三澤正大環境都市部次長、雲林隆継教育部次長）

市民協働部（岩佐正朗部長、栗原達也次長、小野田和幸係長）

4. 議事

（1）各住民自治協議会の活動に関する意見交換

（2）その他

5. 概要

議事（1）各住民自治協議会の活動に関する意見交換（年度総括）

（久木）

・5/16に総会予定。準備を行っている。主な活動としては防災減災、地域の交流、自治会のサポートを念頭に行っている。

・防災については、今年度はトイレにスポットを当て、寸劇など交えながら開催した。しかしながら在宅避難者の安否確認の対応方法など整理が出来ていない。防災の対応については想定すれば終わりが無いが、防災安全課と少しずつ積み上げていきたい。

・在宅避難者をカバーするためWEBアンケートを実施してきているが、参加率が少ない。1%程度。防災安全課から逗子市の公のものだと周知するよう要望中している。

・地域の交流については、7月に久木朝市にて三浦のスイカを80個ほど用意した。朝5時から並ぶ人もいほど盛況であった。その他、三浦野菜、家庭菜園、個人の手芸を出店。11月にはPTAと一緒に拡大朝市を行った。

・久木会館について、久木小学校の休止を受けて、老朽化した設備の維持管理を進めている。エアコンは終了しているが、手洗い場など、床破損について市に要望している。

(小坪)

- ・防災について、R7は避難所運営委員会、防災部会が共同で避難所訓練を行った。また3月には防災マップを活用した研修を行った。使用したマップは持ち帰りいただき、何かしらできることを考えてもらおう一助とした。次年度にはハザードマップの更新も検討している。
- ・地域の活動については、うみかぜテラス、海まる、小坪川の清掃活動などの漁師会、リビエラなど他団体と連携し活動している。またワンワンパトロールやスズキヤの移動販売など地域住民と協力して行っている。
- ・また地域住民の意見を受け、横断歩道前の危険箇所などに白線やグリーンラインを引くなど、市の所管とできることを進めている。
- ・今後の問題については、住民協、自治会、自主防に新たな人が入ってこない。各団体に入るまではしないが、防災の意識は高いことは感じている。実際の活動参加までに持っていけないのが課題である。
- ・はげやま（小坪2丁目県有地）について。防災拠点として重要視している。平時は公園であるが、有事は防災拠点として活用されるよう今後の動きを注視していく。
- ・災害時の医療体制について、今後どのようにまとまっていくのかが見えてこない。自主防、避難所、住民協の役割分担を明確にする必要がある。また担い手不足も課題であり、兼務が多いことも課題である。ITなどを活用しながら考えていきたい。

(池子)

- ・今年度の動きとしては公園の利用ルールについて議論している。ボール遊びの制限が厳しい。地域住民が使いやすいルールにしたいと考えており、まとまったら市へ要望としてあげ、市、住民協、市民との話し合いも視野に入れて考えていきたい。
- ・旧逗子高校跡地について、京急バスに譲渡された。大きい事業者がきたため、防災・減災の面や歩行者の安全性の向上などを期待している。避難所としては池子小学校が上にあり、下は逗子中となっているが、今後どのように進んでいくのか注視している。
- ・旗振り隊について、長い歴史がある。去年3月までは住民協主体で行っていたが、すでに2人。副会長が加わり現状3人で行っており、主に注意すべき3ヵ所を重点的に行っている。180人程見送りをしているが、ほとんどがあいさつをしてくれている。旗の更新の費用などはキッズサポートなども協力してもらっている。タイミングが合えば、池子駐在の巡査も協力いただいている。またパトカーも月2、3回、見回りをしてもらっている。
- ・今のところ、旗振りをしている中で事故は起きていないが、今後は分からない。交通マナーについては、坂が多い池子の地理特性上、自転車はほとんど違反と考える。また若い母親の前に子ども3人で4人乗りをしているなど違反が多いが注意するのも憚られる。
- ・今後も必要な活動と考えるため、旗振り隊の輪を広げていきたい。各自治会の会員会議で投げかけたが、あまりレスポンスはなかった。次年度もこのテーマについては時々触れて、各関連団体に共有していきたいと考えている。

・会員会議には校長も参加しているが、校長からもふらっと出てきて軽く旗を振ってほしい希望があった。これから危険な4～6月、特に小1が心配である。次の会員会議で登下校の時間を共有し、協力者は参加してもらいたい。その後は状況を見ながら継続できるよう対応していきたい

(沼間)

・代表者会議で、住民協からは地域づくり事業、各部会の活動、参加している自治会・町内会は各団体の活動をお互いに共有している。福祉部会は見守り活動など、防災部会は崖崩れ問題や災害・減災の啓発を行っている。3月には「在宅避難のすすめ」を沼間小学校区に全戸配布した。また福祉避難所であるかぐのみ幼稚園、森の郷の災害時の対応を共有している。

・0円食堂、エコ広場、竹活など協力団体と連携してのぼり旗作成など協力している。

・防災について、グリーンヒル自治会が安否確認活動として黄色いタオルを使用したという事例が、桜山4丁目、沼間3丁目なども同様に実施した。またグリーンヒル自治会では集客のため、竹でお酌、カップを作りアルコールを出したところ、参加者アップした。またコロナで中止していたバス旅行を復活させた自治会もある。自治会活動の参考に事例を共有している。

・他の団体としては体育会、ズシップ、PTAと協力している。沼間小学校がマイク故障のため、住民協のマイクを貸すなど協力している。旗振り隊について現在4人、県道沿いを行っている。また登下校の際、旗振り隊の活動以外にも、見守り防犯隊のバッジを作成し、バッジをつけることで周知啓発をしている。

・コミュニティスクールがはじまるにあたって、10年後の沼間小学校を考えることをテーマに沼間小学校、中学校、東保包括、民生委員など地域づくりを考える話し合いを行った。また先日連絡会で行った青切符について、住民協で逗子警を招き説明をしていただいた。その中で逗子警察も会の集まりに参加していただくこととなった。

・次年度について、デジタル化を検討している。市のデジタルサポーターを利用して会議の連絡・周知などをデジタルでやっていこうとしている。

・自治会について、1つ消滅する方向。自主防災組織としては残すのかなどが課題となっている。消滅することによって今後地域としてどのような体制となるか関わっていきたい。

・防災について、一番の課題は防災であると考えている。市の訓練を年1回行っているが、自治会の役割りがはっきりしない。市に地域の災害情報をどのように伝えるのか不明確。災害時の各団体がどう動くかが不鮮明、市として明らかにしてほしい。

(池子)

・防災について、目指すところは各住民協どのように考えているのか。池子も避難所委員会があるが、住民協とはあまり関りが無い。距離を縮めるに苦慮している。

(小坪)

・自主防、避難所、住民協を兼務しているが、最終の構想は出来ていない。市から構想はもらっているが、どうしても問題が出てくる。各所管が自身の範囲だけ進めるとおかしくなる。かといって住民、自主防、避難所、住民協、行政、消防、県、国とあまりにも広げすぎると難しい。そのため身近な部分をどう対応するか。問題意識の共有と、一人でできないところをどうするかを考えている。

・小坪は地形的に津波、崖崩れがある。何度も訓練し、繰り返しことが重要。国も自治体との連携を課題と考えている。市が動くのは国からの通達がきてからではなく、先々を考えて国の指示をまたずに動いてほしい。

・市民に一番近い位置にいる住民協が市に意見をあげ、自治体と意見のキャッチボールができるとよい。お互い目標は同じなので、連携して進められたらと考えている。

(久木)

防災の基本は隣同士。各自治会の活動が円滑に進んでいけば、各自主防の活動が円滑になる。それには地域同士が連携していることが大事。ハイランドや山の根は問題ないが、久木4丁目など解散しようとしている地域も出てきている。

・在宅避難者のカバーはWEB アンケートで行い、自主防と地区防災拠点の連絡連携ができればうまくいくのではないかと。そうすれば地区防災拠点、市との連絡体制が回るようになる。

・久木小学校区も各地区によって自主防のレベルが違う。強いところはカバーできると考えるが、近所の被災状況に瞬時に対応できる体制が出来ているところと出来ていないところがある。強いところは安否確認可能。出来ていないところをどうカバーをしていくかが課題。

・久木は避難所運営のメンバーが住民協と兼務している人が多いため、うまくいっているが、災害時の対応を明確にする必要がある。住民協は地区防災拠点として在宅避難者をカバーする役割と考えているが、防災力を強化するのは重要だが、簡単でないと考える。

(沼間)

最終目標は自分たちがすること、市がすることを明確にすることである。このことを皆が共有していることが重要。1週間後はこう、2週間後はこうというイメージが最終的に共有されるのが理想である。共有されたイメージが、地域住民と共有できるような体制を作っていくというのが、住民協の役割と考えている。災害は明日起こるかもしれないため、早く示してほしい。

・医療救護所について、広報に掲載されていたが実際知っているのは少ないと考える。開業医は医療センターに2人。他の開業医は何をするのか。そのようなことをなぜ周知しないのか。このようなことを早く知らせる必要があるのが、市の役割、それを地域に伝えるのは住民協の仕事と思っている。

・災害時は命を守ること。個人個人がどのように生き残るか。まずは家族で考える必要があ

る。その上で安否確認、要支援者をどう助けるか。緊急避難場所を開設してどのような対応をするのか、地域の役割が示されていないため誰が何をするのかを把握できていない。自主防として何をするかのマニュアルが必要。

(久木)

- ・先ほど消滅する自治会があると同ったがどのような状況なのか。

(沼間)

- ・次の担い手がないという問題である。高齢などを理由に役員、自治会長のなり手がいない。自治会不在となると防災体制についても困難になるため、近隣で連携していきたいと考えている。

(小坪)

- ・避難所運営委員会と住民協の防災部会との活動範囲にお伺いしたい。避難所運営委員会は避難所を運営することが第一、余裕があればできることをするとは考えているが。他の地区はどのように考えているか。

(沼間) (久木)

- ・小坪と全く同じように考えている。

(小坪)

- ・市が来るまでの間は地域住民で対応するしかない。まずは自分たちでできることを考え、訓練を続けていくなど災害に備えることが重要であると考えている。

(久木)

- ・まずは地域の人々が出来ることを考え、継続し、積み上げていくことが重要である。

議事(2) その他

(市民協働課)

地域づくり交付金の要望結果通知を机上に配布する。メールにてR8の申請書を送付、提出をお願いします。R7の報告書についても、本来議決後に確定すると思うが、返金処理の関係のため、案の段階でのご提出をお願いします。

沼間が5/23、池子が5/24の総会のため、R7の返金については、5/25(月)の午前中までに、市役所1階の横浜銀行の機械にてお納めいただきたい。(あらかじめ赤伝は作成して配布予定)なお、翌年度は各住民協の総会が終了すると議会が始まってしまうため、今年度同様、7月の最終週の(金)に開催を予定している。